

みんなの大和NEWS

＜発行部数 14100部＞

発行／中野区大和区民活動センター運営委員会
編集／みんなの大和NEWS編集委員会
住所／〒165-0034 中野区大和町2-44-6

TEL／03-3339-6125 FAX／03-3339-6126
集会室予約／03-3339-6141
Email／nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp



新人です、どうぞよろしく！

新年度を迎え、皆さんの暮らしに関わりの深い施設で、人事異動がありました。これから、私たちとお付き合いが始まる方々から、メッセージをいただきました。



大和西児童館 館長・キッズプラザ美鳩 所長
小野 幸さん

初めて担当する大和地域で、新しい出会いにワクワクドキドキしています。地域の皆さんと連携し、子供たちが自分らしく、安心して楽しく過ごせるよう、尽力していきたいと思っています。



中野区立美鳩小学校 副校長／櫻井欣也さん

地域の皆さま、保護者の皆さまの期待に応えられる学校になるよう、頑張っていきたいと思います。あたたかく見守っていただければと思います。よろしくお願ひいたします。



中野区立明和中学校 副校長／三保谷浩貴さん

明和中学校開校の年の着任です。校名の願いに込められた、学校・保護者・地域が一体となる、親和と友愛の心があふれる学校をめざします。どうぞよろしくお願ひいたします。



中野区立明和中学校 校長／熊谷恵子さん

四中校長から明和中学校長に異動いたしました。教育目標「学び合う、認め合う、高め合う、支え合う」の4つの「合」のもと、地域の子供を育ててまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



中野区立啓明小学校 PTA 会長／萩野谷伸恵さん

子供たちが安心して学習・生活できる環境づくりに努めていきたいと思っています。地域の皆さま、子供たちを暖かく見守って頂きますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。



中野区立明和中学校 PTA 会長／伊藤良実さん

四中と八中の合併で誕生した明和中学校は、生徒数の中野区一となりました。地域の皆さま、お力をお借りしながら、明るく和やかな学校づくりの一助となるべく、支えてまいります。



若宮高齢者会館 施設長／新井孝子さん

4月より若宮高齢者会館を運営することになりました。福祉グループです。地域との交流を図りながら、生涯いきいきと暮らす高齢者の、拠点となる運営を目指したいと思います。



子こころ園大和町 管理／加山裕子さん

4月から着任いたしました。自然や社会への関心を持てるよう、子供たちを大切に育てていきたいと思っています。地域の皆さま、よろしくお願ひいたします。

皆さん、大和のこと、どうぞよろしくお願ひします！



旧美鳩小学校校舎の解体工事に伴う、工事車両の通行にご注意ください！

令和3年4月～12月の予定で、旧美鳩小学校校舎の解体工事が進められています。この間、大和町中央通りや、みつわ通りなどで工事車両の往来が多くなります。通勤・通学やお買い物の外出の際には、交通に十分気をつけてください。



工事車両の通行には、安全対策を徹底します。

- 交通誘導員を配置し、安全管理に努めます。
- 周辺道路で待機駐車を行わないよう、巡回監視を徹底します。

YAMATO GALLERY 大和ギャラリー

■大和区民活動センター1階ホール

展示予定

- 5月29日(土)まで「春の絵手紙展」
- 5月31日(月)～6月19日(土)「＜第20回＞大和写真クラブ作品展」
- 6月21日(月)～7月10日(土)「大和の七夕飾り」

＜まちなかサロン＞傾聴サロンやまと

傾聴ボランティアと、楽しいおしゃべり！

- 開催日時／毎月第1木曜日(予約不要・祝日休み) 13:30～14:30
- 会場／当センター2階洋室2・3号室
- 参加費／200円(ドリンク・茶菓子)

60歳以上の方に マッサージ 三療サービス

- 日時／毎月第3木曜日 09:30～(当日09:00から電話受付)
- 5月は27日(第4木曜日)です。
- 場所／センター3階 和室1・2号室
- 費用／900円(45分)

伝言板

新型コロナウイルスの状況次第では中止になる場合もあります。館内ポスター・ホームページ・事務局でご確認ください。

■問合せ／大和区民活動センター運営委員会事務局
☎(3339) 6125 Email:nakano_yamato@coast.ocn.ne.jp

地域のコミュニティカフェ。 カフェカトレア

《スタッフ募集》

新型コロナウイルスが完全に収束するまでは、お休みです。再開のメドがいたら、館内ポスター・ホームページでお知らせします。

健康体操カトレア

●毎月第1月曜日は「みんなでワイワイ」(無料) 6月・7月はポッチャを予定しています。お気軽にどうぞ。

- 時間／13:30～15:30
- 会場／当センターレクホール
- 講師／長野誠先生(スポーツボランティア)
- 毎月第3月曜日は「椅子を使った体操」(無料) ●時間／13:30～15:30
- 会場／当センター集客室
- 講師／山本明子先生(中野区トリム体操連盟会長)

お詫びと訂正

「みんなの大和ニュース3月号」で掲載した「美鳩小学校の避難所」の大和町対象エリアに表記漏れがありました。お詫びして、訂正させていただきます。

《美鳩小学校避難所の対象エリア》※赤字が表記漏れのエリアです。

- 大和町西部自治会特別防災部 ●都営大和町四丁目アパート防災会
- 大和町四丁目42番の一部、43番～45番、46番の一部、52番、53番
- ※その他、若宮二丁目・三丁目の一部と、白鷺一丁目の一部が対象になります。
- ※なお、黒文字のエリアは、現在建設工事中の明和中学校新校舎が完成したら、明和中学校が避難所になる予定です。

大和のマイ★スター 49

楽しくなる町会情報誌「瓦版」清水宣行さん(東町会)



清水さんは平成26年7月、当時の班長さんに交代を依頼され、次の方が見つかるまでのピンチヒッターで、町会活動を引き受けました。その後、役職に欠員が出て、逝去された方もいたため推薦を受け、庶務・広報部長・班長・防犯部長を兼務することに。班長になるまでは町会長さんの顔も判らず町会費・日赤・寄付などの支払いのみ。持ち回りでの回覧板のスタートや、資源ごみ置き場の管理などで「町会とは、一体何のためにあるのだろう？」と思っていました。

そこで、広報部に任命されると「町会の活動を町会の方々に知ってもらうために、回覧板を利用していただく」と、町会長さんに相談して、平成27年5月、町会情報誌「瓦版 Yamato 東町会」が誕生しました。町会情報誌の他に、寺子屋広報・雑学等を掲載したところ、毎月楽しみにして下さる町会員さんも増えて(67号まで発行されました)「趣味で作っています」と謙遜されますが、清水さんは長年芸能に関するお仕事をされていて、その時に雑誌の制作に携わった経験があるそうです。また、66歳から始めた空手を、地域で週2回教えており、経験と探求心が生まれた、豊富な知識が活かされている「瓦版」は、楽しくするための町会情報誌です。



コラム「私のお楽しみ」⑤

佐久間利彦さん（大和町在住）

よろず鉄道好き。



「私、鉄ちゃんなんです」って言うのと「何鉄ですか？」ってよく聞かれます。最近、撮り鉄・乗り鉄・果ては音鉄なんていうのもあって、鉄ちゃんも専門化していて、何かの分類に入っていないと、いけないように感じています。でも、そんな専門的じゃなくたって、鉄道が好きなら、何鉄じゃなくてもいいんじゃないでしょうか。なので、私は「なんでも鉄です」ってよく言います。時刻表を見て、どのように乗り継ぐかを調べ、列車に乗り、写真を撮って、ガタンガタンという音や、車内放送の車掌さんの話を聞いて、のんびり旅をするのが好きなんです。新宿から、140円で房総半島を1周したことがありました。ちゃんと合法的にですよ。また、御殿場線で富士山を写しに行ったこともあります。たまには普通列車でのんびり旅。やってみたらどうですか？いつもと違う景色が、見られるかもしれませんよ。

そうそう、もう一つの楽しみに駅弁がありますよね。でも最近、普通列車に揺られてゆっくり駅弁を食べるのが、難しくなってきたような気がします。だって、座席の形が通勤電車ようになってしまっているからです。やっぱり向かい合わせの座席でないと、なんとも風情がないですもんね。ま、どんな形にせよ駅弁は美味しい。デパートの駅弁まつりで買って、家で食べたっていいじゃないですか。列車の映像でも見ながら、旅気分食べるのもいいものです。



にじいろ保育園中野野方「入園のつどい」

4月1日（木）青空のもと薄紅色の花びらが舞い散る中、今年は0歳児から4歳児までの15人の元気なお友だちが仲間入りしました。地域の皆さまには、何かとお力をお借りすることもあるかと思ひます。職員一同、楽しい保育を目指し頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。（斎藤園長）



大和の素敵スポット

壁面からベランダまで、黄色いモッコウバラに覆われた、童話の世界のような金藤さんの家。



モッコウバラには4種類ありますが、金藤家で咲いているのは、黄色で八重咲の「キモッコウバラ」です。最初は鉢に入った苗を育てていましたが、壁際の地面に植え替えた後、どんどん伸びて壁を伝ってベランダにまで侵入してしましました。育ててから6年になりますが、今も成長は止まらず、年2回は剪定作業をしているそうです。

一緒にやろうよ！

25 歌って元気！笑って元気！「大和町うたう会」



山畑さんの楽しいお話



コロナのためマスクでレッスン

「こんな素敵な先生とメンバーと一緒に、大きな声で歌っていると、気持ちが若返って、心も体も元気になりますよ。ぜひ、見学に来てください。大歓迎です！」



皆さん、元気でおいでです！

毎月、第2・第4火曜日の10:00～12:00まで、当センターの音楽室で活動している「大和町うたう会」をご紹介します。この会の前身で30年も続いた「うたう会」を引き継いだ、現在代表の岩田全子さんと仲間が、「大和町うたう会」として再出発して2年になります。今は最高齢89歳の方を含めた、6名で活動しています。

園児たちの、一年間の成長の集大成。

大和幼稚園「生活とひょうげん展」

2月6日（土）7日（日）の2日間、園児たちの一年間を振り返る作品展が、感染防止対策を徹底し分散型で開催されました。展示作品には、3つの「見どころ」があり、①園生活での体験を描いた「ひょうげん」②様々な素材を使った「立体的な作品」③クラスみんなで作った「共同制作」です。会場には、園児と保護者の方が一緒に来て、保護者の方には、お子さんの一年間の成長や子供たちの主体性、自己肯定感の育ちがよくわかる有意義な展示会だったと思います。そして何より頼もしかったのは、自分の作品を、パパやママに嬉しそうに説明している園児たちの、自信に満ちた輝く笑顔でした。



新しい園舎で、みんな頑張った！七海保育園「生活発表会」

2月20日（土）新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、年齢別の入れ替え制で「生活発表会」を行いました。新しい園舎での初めての発表会。舞台や照明が設置されたホールで、大好きな家族に見守られる中、練習してきた詩や歌・劇を披露しました。1か月前からセリフやしぐさを子供たちと考えたり、一緒に大道具・小道具を作り、準備を進めてきました。

本番の日は少し緊張気味の様子でしたが、幕が開き家族の人の姿を見つけると安心した笑顔を見せ、嬉しそうに手を振る姿がありました。

一人ひとりの可愛い姿と成長に、感動をもらった一日になりました。（成田先生）



大和町の子供たちの、新しい門出でした。

3月中旬から4月上旬にかけて、大和町内の保育園・幼稚園・小学校・中学校で卒業式と入学式が行われました。コロナ禍の中、どこも感染防止対策に苦心されての開催でした。

●8か所の保育園と2か所の幼稚園の卒園児は、合計約210名、新入園児は約220名。子供たちの笑顔は満開でした。



田中ナースリー大和保育園の卒園式



大和幼稚園の入園式

●小中学校の卒業生・新入学生の人数は
・啓明小学校（卒業生）53名（新入学生）52名
・美鳩小学校（卒業生）117名（新入学生）139名
・明和中学校（新入学生）132名 4月に第四中学校と第八中学校の合併で誕生したため、卒業式は来年になります。四中時代より生徒数が約150名も多くなりました。新校舎の完成が待ち遠しいですね。



啓明小学校の卒業式



明和中学校の入学式

ご報告します。



学校や保育園・幼稚園では、コロナ感染予防対策にご苦労されてのイベントが開催されました。元気な子供たちを見られて、嬉しかったです！

今年の節分の願いは「福は～内、コロナは～外」

124年ぶりに2月2日（火）になった節分のこの日、町内の保育園では、感染防止対策に知恵を絞ってのイベントが開催されました。

●おうち保育園なかの大和「節分」

「うさぎのミミちゃん、鬼は～外！」の紙芝居から節分の幕が開き、次いで豆の代わりに新聞紙を丸めた玉を、壁に貼られた鬼の顔に当てる「的当て豆まき」が行なわれました。そして園長さん扮する鬼が現れ、小さい子供たちは泣き出して大騒ぎ。先生が「この鬼さんは優しい鬼さんで、みんなと友だちになりたいんだって」と話すと、恐る恐るハイタッチをしたり、ハグまでする勇敢な子もいて、最後は鬼と一緒に仲良く記念写真におさまりました。



●TAC 未来こども保育園大和町「節分の会」

園児たちと先生が丸く輪になって座り、絵本の読み聞かせから「節分の会」がスタートしました。次いで「豆まきの歌」と「鬼のパンツ」をみんなで合唱した後、急に先生たちが立ち上がり「大変！先生の体に鬼が入っちゃた！」「みんなで先生にボールをぶつけて、中の鬼を追い出して！」と叫ぶと、びっくりした子供たちは、必死に先生目掛けてボールを投げつけました。実は去年、鬼に扮した先生を見たショックが、しばらく続いた子がいたため、の苦肉のアイデアでした。



「あつ、鬼がいなくなったみたい、みんなありがとう！」と先生が言うと、子供たちに笑顔が戻り「先生、大丈夫？」と先生を気遣う優しい雰囲気、で会は終了しました。

●田中ナースリー大和保育園「節分豆まき会」

乳児クラスの園児たちは、年長オニさんと室内で豆まきをしました。園庭で鬼ごっこをしました。乳児クラスの園児たちが室内に入ると、幼児クラスの園児たちが園庭に登場。しばらく元気に遊んだ後に、先生から豆を配られ、豆まきのルール説明を受けました。さあ、いよいよ鬼の登場！と固唾を呑んで待っていると、棍棒を片手に赤鬼と青鬼が、園児たちを目標に追いかけてきました。鬼の形相に恐れて安全地帯の中に入り「こわーい！」と号泣する園児、鬼退治のために必死に豆をまく園児と接戦になりましたが、最後には園児たちのパワーに恐れた鬼たちが、逃げて行きました。勇気を出して頑張った子供たち全員に、福の神のお面をかぶった園長先生から、お守り（鬼から守ってくれる）をいただきました。「福は内！鬼は外！」コロナウィルスが無事終息しますように…。

